

平成 30(2018)年 10 月 25 日 報道発表資料

[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。ロームシアター京都より催物ほかのご案内です。どうぞご注目、ご取材のほど、よろしくお願いたします。

<トピックス>

- ◆【チケット発売中】「シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.2 能楽『鷹姫』
- ◆【取材案内】11/15 開催 笠井叡 迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』記者懇談会のお知らせ
- ◆【取材案内】11/21 開催 「地域の課題を考えるプラットフォーム CIRCULATION KYOTO ー 劇場編」アーティスト×ドラマトウルク リレートークおよび個別取材のご案内

【チケット発売中】「シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.2 能楽『鷹姫』

伝統芸能の継承と創造を目指すシリーズ 第二弾は、“能”がテーマ

平成 29 年度から始まった伝統芸能の継承と創造を目指す新シリーズ「舞台芸術としての伝統芸能」。2 年目となる平成 30 年度は、“能”をテーマに、「鷹姫」を舞台芸術バージョンとして上演。

空間設計には大阪・北加賀屋を拠点に活動し建築設計だけに留まらず、現場施工、アートプロジェクト、さまざまな企画にもかかわる dot architects (ドットアーキテクト) 代表の家成俊勝を迎え、演劇空間としての能舞台について新たな角度からそのありようと可能性を探ります。上演後には、能楽師と専門家によるディスカッションも行います。

日時：2019 年 2 月 3 日 (日) 14:00 開演

会場：サウスホール



第一部「鷹姫」

原作▶W.B.イェーツ

能本作者▶横道万里雄

曲節作者▶観世寿夫

演出▶観世鍬之丞

出演▶鷹姫：片山九郎右衛門

老人：観世鍬之丞

空賦麟：宝生欣哉

第二部 ディスカッション

出演▶観世鍬之丞、片山九郎右衛門、西野春雄（文学研究者/法政大学名誉教授）



観世鍬之丞



片山九郎右衛門

チケット料金：全席指定 【1 階席】一般 5,000 円/ユース (25 歳以下) 4,000 円

【2 階席】一般 4,000 円/ユース (25 歳以下) 3,000 円 発売中

お問合せ：ロームシアター京都チケットカウンター TEL 075-746-3201

詳細は別添の「シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.2 能楽『鷹姫』」プレスリリースをご覧ください。

【取材案内】11/15 開催 笠井叡 迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』記者懇談会のお知らせ

1月11日、12日に公演を控える笠井叡 迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』に先立ち、舞踏家・笠井叡をお迎えした記者懇談会を行います。当日は公演概要のご説明に加え登壇者によるコメント等を予定しております。合同取材後、個別取材のお時間もご用意できますので、ぜひご参加ください。

日時：2018年11月15日(木) 14:00~14:45 (受付開始 13:30)

会場：ロームシアター京都 メインホール 2階席ホワイエ

登壇者：笠井叡 (舞踏家)

<同日開催> 澁澤龍彦 著「高丘親王航海記」読書会

笠井叡をゲストに、澁澤龍彦著『高丘親王航海記』について参加者同士意見を交換し、内容の理解を深める交流会。

日時：11月15日(木) 19:00~21:00 会場：ロームシアター京都 パークプラザ3階 共通ロビー

課題図書：『高丘親王航海記』(文春文庫) *お読みの上、当日ご持参ください。 料金：無料(先着/要申込)

笠井叡プロフィール



1943年生まれ。1960年代に大野一雄、土方巽に出会い、舞踏家として活動を始める。1971年に天使館を設立、多くの舞踏家を育成する。1979年から1985年までドイツ留学し、ルドルフ・シュタイナーの人智学、オイリュトミーを研究。帰国後、1994年に『セラフィータ』で舞台に復帰。2001年初演『花粉革命』は代表作として世界各都市で上演を果たす。ソロ作品のほか、ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。

【笠井叡 迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』公演概要】

笠井叡が盟友・澁澤龍彦の遺作「高丘親王航海記」をダンス作品化。コラボレーターに榎本了壺、黒田育世 (BATIK)、近藤良平 (コンドルズ)、寺田みさこを迎え、京都で世界初演!

澁澤龍彦の遺作「高丘親王航海記」を、笠井叡の手により21名ものダンサー、オイリュトミストからなる大スペクタクル作品として演出します。黒田育世、近藤良平、寺田みさこなど、人気・実力ともにコンテンポラリーダンスを代表するダンサーを迎えるほか、意匠・舞台美術・映像・衣裳に榎本了壺、舞台上の造形物に現代美術家の椿昇など、京都・関西にもゆかりのあるあらゆる才能を結集し、澁澤龍彦の世界を現代によみがえらせます。



日時：2019年1月11日(金) 19:00開演、12日(土) 15:00開演

会場：サウスホール

原作：澁澤龍彦 演出・振付・台本：笠井叡

出演：笠井叡、黒田育世、近藤良平、笠井瑞丈、上村なおか、岡本優、

篠原くらら、BATIKダンサー、天使館オイリュトミスト、寺田みさこ(京都公演のみ)

意匠・舞台美術・映像・衣裳：榎本了壺

チケット料金：全席指定 一般4,000円 ユース(25歳以下)3,000円 発売中

☞ [あらすじほか詳細は別添の笠井叡 迷宮ダンス公演「高丘親王航海記」プレスリリースをご覧ください。](#)

☞ [笠井叡インタビュー掲載：ロームシアター京都自主事業ラインアップパンフレットPDFはこちら](#)

<取材案内>

御多忙とは存じますが、是非とも取材いただきますようご案内申し上げます。取材いただける場合は、大変お手数ではございますが、別紙の出席確認票をFAXにてロームシアター京都(送付先:075-746-3366)に送付いただきますようお願い申し上げます。 **返信締切:11月12日(月)17:00**

【取材案内】11/21 開催 「地域の課題を考えるプラットフォーム CIRCULATION KYOTO — 劇場編」アーティスト×ドラマトルク リレートークおよび個別取材のご案内

5組のアーティストが京都の中心部を囲む5つの地域（山科区・伏見区・西京区・北区・右京区）を出発点に創作し、新作を連続して発表する「CIRCULATION KYOTO — 劇場編」。12～3月にかけて実施する公演に先立ち、参加アーティストとドラマトルクが一堂に会し、今回の創作の過程や公演の見どころをお話します。またトークの前後には、各アーティストに直接ご取材いただきますので、ぜひこの機会にご取材いただきますようお願い申し上げます。



【リレートーク概要】

日時：2018年11月21日(水) 18:00～21:00

※トークの前後に個別取材が可能です。ご希望の媒体様は出席確認票にてご連絡ください。

会場：ロームシアター京都 パークプラザ3階 共通ロビー

登壇者：長島確、村川拓也×林立騎、相模友士郎×細馬宏通、遠山昇司×福島幸宏、きたまり×木ノ下裕一×武田力（予定）

参加無料・予約優先制（ロームシアター京都 WEB サイト専用フォームにて予約）

[「地域の課題を考えるプラットフォーム CIRCULATION KYOTO — 劇場編」プレスリリースはこちら](#)

登壇者プロフィール

長島確（ながしまかく）

1969年東京生まれ。立教大学文学部フランス文学科卒。大学院在学中、ベケットの後期散文作品を研究・翻訳するかたわら、字幕オペレーター、上演台本の翻訳者として演劇に関わるようになる。その後、日本におけるドラマトルクの草分けとして、さまざまな演出家や振付家の作品に参加。近年は演劇の発想やノウハウを劇場外に持ち出すことに興味をもち、アートプロジェクトにも積極的に関わる。東京芸術祭2018より「プランニングチーム」メンバー、東京藝術大学音楽環境創造科特別招聘教授。

村川拓也（むらかわたくや）



演出家。1982年滋賀生まれ。京都市在住。ドキュメンタリーやフィールドワークの手法を用いた作品を、映像・演劇・美術など様々な分野で発表し、国内外の芸術祭、劇場より招聘を受ける。1人のキャストとその日の観客1人を舞台上に招き、介護する／されることを舞台上に再現する『ツァイトゲーバー』（2011年）、村川から事前に送られてきた手紙（指示書）に沿って舞台上の出演者が動く『エヴェレットゴーストラインズ』（2013年）などの作品群は、虚構と現実の境界の狭間で表現の方法論を問い直し、現実世界での生のリアリティとは何かを模索する。

林立騎（はやしたつき）

ドイツ語翻訳者、演劇研究者。訳書にイエリネク『光のない。』（白水社）、共編著に『Die Evakuierung des Theaters』（Berlin Alexander Verlag）。リサーチ活動にPort B『東京ヘテロトピア』など。2012-14年、アーツカウンシル東京調査員（伝統芸能分野）。古典芸能と現代芸術にかかわる論考に「あらたなる地理の可能性—許家維の映像-歴史-地理学」、「終わりのない演劇のために—木ノ下歌舞伎『心中天の網島』」など。現在、京都造形芸術大学非常勤講師、沖縄県文化振興会チーフプログラムオフィサー、東京都港区文化芸術サポート事業評価員、NPO法人芸術公社ディレクターズコレクティブ。

相模友士郎（さがみゆうじろう）



演出家。1982年福井生まれ、福井市在住。70歳以上の伊丹の高齢者たちと制作した『DRAMATHOLOGY／ドラマソロジー』（2009年）で鮮烈なデビューを果たし、その後も様々なコミュニティに入り込みながら、劇場で見るといふ身体的経験を問い直す上演を続ける。12年にダンス作品『天使論』（TPAM in YOKOHAMA 2012）を発表、各地で再演を重ねる。最近作に、『スーパーインポーズ』（まつもと市民芸術館、福井市文化会館 2016年）、ダンサーの佐藤健大

郎との共同制作による『ナビゲーションズ』（14年）など。

細馬宏通（ほそまひろみち）

1960年生まれ。滋賀県立大学人間文化学部教授。専門は声と身体動作の時間構造研究。著書に「二つの『この世界の片隅に』」「浅草十二階（増補新版）」「絵はがきの時代」（青土社）、「介護するからだ」（医学書院）、「うたのしくみ」（ぴあ）、「今日の『あまちゃん』から」（河出書房新社）、「ミッキーはなぜ口笛を吹くのか」（新潮選書）など。

遠山昇司（とおやましょうじ）



映画監督、プロデューサー。1984年熊本生まれ。東京都在住。最新作『冬の蝶』は若手監督の登竜門である第33回テヘラン国際短編映画祭アジア・コンペティション部門グランプリを受賞。映画監督として着実にキャリアを積み一方、誰かの水曜日の出来事が書かれた手紙を転送、交換する参加型アートプロジェクト「赤崎水曜日郵便局」のディレクター・局長を務め、2014年度グッドデザイン賞を受賞。舞台・展示・アートプロジェクトなどの企画・プロデュースを手がけ、そのマルチな才能が目目される。2020年春に開催される「さいたま国際芸術祭2020」ディレクターに公募から選出されている。

福島幸宏（ふくしまゆきひろ）

京都府立図書館 企画総務部企画調整課。公文書館／図書館／歴史学。京都府立総合資料館では、近代行政文書の文化財的修理・昭和戦前期資料の公開・京都市明細図の活用・東寺百合文書の記憶遺産登録・CC BYでのweb公開を担当し、Library of the Year 2014大賞を受賞。京都府立図書館では、サービス計画の策定・システム構築・企画・調整・広報などを担当している。

きたまり



(c)Yujiro Sagami

振付家、ダンサー。1983年生まれ。京都市在住。京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 在学中の2003年よりダンスカンパニー「KIKIKIKIKIKI」主宰。出演者のブログから映画、伝統芸能、クラシック音楽まで、あらゆる素材からダンスを創作、近年ではグスタフ・マーラーの交響曲全10曲を振付するプロジェクトを開始し、同プロジェクト2作目『夜の歌』で文化庁芸術祭新人賞（2016年度）を受賞。また、多田淳之介、木ノ下歌舞伎、ディディエ・ガラスなどジャンルを越境した共同

制作を国内外で積極的に展開する。

木ノ下裕一（きのしたゆういち）

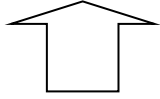
木ノ下歌舞伎主宰。1985年7月4日、和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の演出や補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談一通し上演』『心中天の網島』『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』など。2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞 2015年上半期作品賞にノミネートされる。また、2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。平成29年度芸術文化特別奨励制度奨励者。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』（2018）の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

武田力（たけだりき）

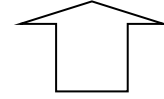
パフォーマンス・アーティスト、民俗芸能アーカイバー。滋賀県の過疎の進む集落で古来より継がれてきた六斎念仏の「継承」を担う。こうした民俗芸能の構造に着想を得て、糸電話、警察署員との対話、たこ焼きなどを素材とし現代に作品を展開。民俗芸能と芸術との互恵的な関わりから、社会課題を観客とともに軽やかに思考する作品を展開している。アーツコミッションヨコハマ 2016, 17 年度クリエイティブ・チルドレン・フェローアーティスト。

<取材案内>

御多忙とは存じますが、是非とも取材いただきますようご案内申し上げます。取材いただける場合は、大変お手数ではございますが、別紙の出席確認票をFAXにてロームシアター京都(送付先:075-746-3366)に送付いただきますようお願い申し上げます。 **返信締切:11月14日(水)17:00**



ロームシアター京都 宛



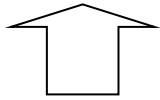
FAX:075-746-3366

【取材案内】 笠井叡 迷宮ダンス公演 『高丘親王航海記』 記者懇談会

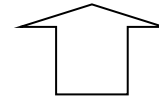
- (1) 日 時 平成30年11月15日(木) 14:00開始
(2) 場 所 ロームシアター京都 メインホール 2階席ホワイエ
(3) 登壇者 笠井叡(舞踏家)

御芳名	
媒体名 貴社名	
TEL	() - ※当日連絡可能な連絡先 () -
FAX	() -
撮影希望	撮影される場合○をつけてください。 スチール / テレビカメラ (台)
備考	個別取材(各社2~30分を予定)を希望される場合もこちらにご記入ください。

- ◆平成30年11月12日(月)午後5時までに本票をFAXにて(075-746-3366)送付願います。
- ◆駐車場はございません。公共交通機関を御利用いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場を御利用ください。



ロームシアター京都 宛



FAX:075-746-3366

【取材案内】

「地域の課題を考えるプラットフォーム CIRCULATION KYOTO ー 劇場編」
アーティスト×ドラマトゥルク リレートークおよび個別取材

- (1) 日 時 平成30年11月21日(水) 18:00～21:00
(2) 場 所 ロームシアター京都 パークプラザ3F 会議室2
(3) 登壇者 長島確、村川拓也×林立騎、相模友士郎×細馬宏通、遠山昇司×福島幸宏、きたまり×木ノ下裕一×武田力(予定)

御芳名	
媒体名 貴社名	
TEL	() - ※当日連絡可能な連絡先 () -
FAX	() -
撮影希望	撮影される場合○をつけてください。 スチール / テレビカメラ (台)
備考	個別取材(各社2~30分を予定)を希望される場合もこちらにご記入ください。 ※取材対象者のご希望を明記ください。

- ◆平成30年11月14日(水)午後5時までに 本票をFAXにて(075-746-3366)送付願います。
◆駐車場はございません。公共交通機関を御利用いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場を御利用ください。